

タウンミーティングで出された意見等に係る 前期基本計画への反映状況

伊久身・大長地区(実施日:平成29年8月17日)

対応状況・反映状況の凡例
 ◎…すでに前期基本計画に盛り込まれているもの
 ○…前期基本計画に反映したもの
 ×…前期基本計画には反映しないもの
 ……質問等により、特に前期基本計画に反映する必要がないもの

※色が塗られたものは、当日挙手制による意見交換を行ったものです。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
1	人口減少に伴う税収と今回の計画予算は合致しているのですか。	計画の中に含まれる各施策については、市の収入の中から、必要とする費用（社会保障経費等）を引いた中で、調整を図っています。	—	
2	・総合計画そのものには異存はない。ただ、第1次総合計画の成果、結果を受けての2次計画となると思うが、1次計画の評価や反省の証明が必要ではないのか。 ・第1次計画は現在実施中ですか。その評価はするのでしょうか。	第1次島田市総合計画については、各政策において目標指標である「めざそう値」を設定し、その評価を踏まえた上で、今回の計画を策定しています。	—	
3	人口減少・超高齢社会を克服するにあたって、今後の市の人口目標との関連性を含めて、どのような内容で取り組むのか。	各政策分野における取組を実施することで、今後の目標人口の達成を目指すこととしています。	—	
4	本日のタウンミーティングに出席している市長はじめ職員の人数が多すぎる。各担当者以外は把握できていないのではないですか。	各地区で出された意見に対し、御回答できるよう全部長が出席しています。また、全部長が直接皆様の御意見を聴く機会と致しました。	—	
5	これからのまちづくりについて、伊久身・大長地区に対しての具体的な施策はどのようなものがありますか。	タウンミーティングの資料にてお示した、一部地区の消防団可搬ポンプ更新事業や、子供たちの教育環境を第一に考えた教育環境適正化事業、移住定住を促進するための地域おこし協力隊派遣事業、市道や林道改良事業、危険橋撤去事業などがございます。	—	
6	第1次総合計画では、高齢化社会、人口減少について、どのように考えられていたのか。また、その結果はどうであるか。	人口減少社会、少子高齢化社会に立ち向かうべく「ほっと定住プロジェクト」「やりがい協働プロジェクト」「にぎわい交流プロジェクト」の3つの重点プロジェクトを立ち上げ、重点的に施策を展開しています。 平成27年度に策定した「島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に沿った事業の推進により、平成28年度については、転入者が転出者を上回る転入増につながっています。	—	
7	今まで経験したことのないまちづくりのためのチャレンジが必要だが、具体的にはどのような優先順位を考えているのでしょうか。	重点施策を主に進め、各施策などについては、社会情勢の変化もありますので、毎年実施する実施計画において調整を図っていきます。	—	
8	今後、人口減少に伴って社会保険料（国保等）の掛け金が増加するのか。現在でも厳しいのに、さらに上げられてはたいへん困ります。	現段階においては、平成30年度の国保制度改革等もあり、どの様に変っていくか分かりかねる状態です。 市としましては、現行の医療保険制度では、高齢化や医療の高度化による一人当たり医療費の上昇は避けられないと考えており、それに伴い社会保険料の必要に応じた増額はあると考えますが、引き続き、市民の皆様が元気にお過ごしいただくための施策を展開するとともに、生活習慣の改善に向けた支援により、医療費の上昇を抑える努力をしていきます。 市民の皆様方におかれましても、社会保険料等の抑制に向けて、一人ひとりの健康に対する意識がとても重要となりますので、ぜひ御協力をお願いします。	◎	施策の柱1-2-4 ・国民健康保険事業については、広域化により県との連携を図りながら、安定的かつ健全な運営を維持してまいります。税収の確保に努めるとともに、後発医薬品差額通知の送付や特定健診・特定保健指導の実施により、年々増加する医療費の抑制を図り、被保険者が安心して医療が受けられる体制を構築します。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
9	防災について、最近の雨の降り方が異常で、大井川をはじめとする河川の整備はどのような状況か。	大井川については、95%の整備が進んでいます。さらに、川幅が狭い箇所を広げるための牛尾山の開削工事、さらに対岸の神座の護岸工事を国が早期完成を目指して実施しています。	—	
10	水害・洪水による避難勧告、避難指示等の管理対象河川に伊久美川が入っていません。この理由にはどのようなものがありますか。	管理者である静岡県で具体的な洪水浸水深調査を実施しておらず、ハザードマップに正確に浸水予想を表示できない状態にあるからです。 伊久美川を含む市内の主要中小河川は全て監視、警戒の対象としています。避難の必要があれば、避難情報やこれに至る前の警戒情報、自主避難を促す情報も危険度に応じて情報伝達していきます。	◎	施策の柱1-1-3（冒頭部） 情報や警報の伝達体制を整備するとともに、直接的・間接的に居住空間の安全を確保できるハード対策を進めます。また、交通インフラ等の耐震化や長寿命化を図るなど、様々な災害や危機事態に対する市民の安全を確実にする条件整備を進めます。
11	教育に関わる委員会の整合性はどのようにしていくのか。	教育環境適正化実行委員会のことと思われませんが、こちらの委員会につきましては、教育委員会や市当局の職員をはじめ、有識者や地元の方を含めた形で構成し、子どもたちの最善な教育環境について検討していきます。	◎	施策の柱2-2-3 ・「島田市教育環境適正化検討委員会」を開催し、適正な教育環境を実現するための具体的な方策を検討していきます。
12	市全体に「ちびっこ広場」の設置をして、子どもの居場所を考えられないか。	市内にある「ちびっこ広場」は地域の方が管理をされている広場となっています。 このため、子どもの居場所としては、子育て支援センターや放課後児童クラブなどの子育てを温かく見守る環境をつくる事業を展開することにより進めていきます。	◎	施策の柱2-1-4 ・放課後の適切な遊びと生活の場を提供し、子供の自主性、社会性を養う放課後児童クラブの受け入れ体制を整備し、働く保護者の支援に繋がります。 施策の柱2-2-1 ・「放課後子ども総合プラン」に基づき、子どもの居場所づくりを推進し、地域の方の協力のもと、様々な体験活動を通じ子供を育む放課後子ども教室を実施します。
13	新東名において、島田側へETC入出のサービスエリアができないものか。	新東名高速道路の島田側は、平地が少なくトンネル部が多いこと、さらに島田金谷ICまでの距離が短いことから、その実現は難しいと考えます。	×	
14	ふるさと納税について。神座地区でみかんの販売を手掛けているが、年々減少する一方である。なぜなのか、どこに問題があるのか、また、寄附金の推移はどうか。島田市に寄附するメリットを全国の人にPRできているか。	昨年度までは、ふるさと納税の返礼品として神座みかんが一番多く要望がありました。ふるさと納税の返礼品の種類の増加に伴い、返礼品が分散されたことが要因であると思われます。	○	施策の柱5-2-1 ・ふるさと寄附金制度を通じて地場産品など島田の魅力を全国にPRし、地場産品や観光を盛り上げます。
15	賑わい交流拠点施設における、市の役割・分担はどのようになっているのですか。教えてください。	賑わい交流拠点は、市、大井川農協、大井川鐵道、中日本高速道路の4者により、市が全体をコーディネートする中で整備を進めていきます。具体的な役割分担（負担割合）等については、今年度末には施設の実設計画、基本設計の策定作業が完了しますので、その中でお示していきます。	◎	施策の柱6-3-4 ・地域の農産物を販売するマルシェやレストラン、大井川鉄道新駅と一体となった「新東名島田金谷インターチェンジ周辺賑わい交流拠点」を、関連する団体と連携して整備し、農業振興とともに観光交流人口の拡大による地域振興を図ります。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
16	新東名島田金谷IC周辺事業の賑わい交流拠点では、神座みかんや、お茶を販売するブースは確保されるのでしょうか。	もちろん、お茶やみかんは島田市を代表する農産物として、販売を予定しています。具体的な内容については、今年度末には施設の実施計画、基本設計が完了しますので、其中でお示していきます。	◎	施策の柱3-4-3 ・市内の優良農産物を賑わい交流拠点で製造・加工販売し、知名度を高めていきます。
17	蓬莱橋周辺の整備について、他県を含む来客者から「初倉側に行っても何も無い」との話を聞きます。アビタ側の整備のみとなるのでしょうか。	第2次島田市総合計画では、左岸側に交流拠点の整備を主とする蓬莱橋周辺整備事業を実施します。初倉側の整備につきましても、今後大井川ミズベリング協議会の中で検討していく予定です。	◎	施策の柱3-5-2 ・当市を代表する観光名所である「蓬莱橋」への物販所、トイレ、案内所の施設整備や周辺幹線道路等の基盤整備により集客力を高めます。 施策の柱5-1-1 ・蓬莱橋周辺の施設や道水路整備とともに、右岸側の利活用についても検討を進めます。
18	木材を利用した発電に対する検討はするののか。	新エネルギーや再生可能エネルギーについては、川根温泉のメタンガスによるコージェネレーションシステムによる発電、発熱や、太陽光発電の推進などの取り組むほか、市内の豊富な資源を活用した再生可能エネルギーの導入に向けた調査研究を市内事業者や市民とともに進めていく予定です。	◎	施策の柱4-1-1 ・市内の事業者や市民とともに市内の豊富な資源を活用した再生可能エネルギーの導入に向けての調査研究を進めます。
19	・農地の集約化はどのようにしていくのでしょうか。 ・小規模茶農家の廃業により遊休農地が増えていることに対し、具体的な対策はありますか。	意欲のある農業者や新たな担い手、また、農業経営に係る法人化による経営体などに、農地中間管理事業や人・農地プランの活用により農地集積を図っていきます。	◎	施策の柱3-4-1 ・農地中間管理事業や人・農地プランの活用により、担い手への農地集積を図ります。
20	休耕地の住宅地化をどのように計画に取り入れられるののか。	休耕地については、所有者等への管理指導を行うとともに、作付けや再生の可能性を検証するなど、農地としての再生・活用を促進する内容を国土利用計画の中で位置付けています。	◎	国土利用計画「利用区分別の土地利用の基本方向」 （農用地） 遊休農地の把握に努め、把握した遊休農地は所有者等へ管理指導を行うとともに、作付けや再生の可能性を検証するなど、農地としての再生・活用を促進します。
21	コミバスの本数が少なく、高齢化が進み、高齢者にとって街への便が悪いです。今後の対応策は。また、コミバスの運行による福祉をどうお考えですか。	コミバスの運行は、福祉施策ではなく、公共交通施策と位置づけています。公共交通としては、現在、自治会やNPOが主体となった運行システムの構築を考えています。個人的要望など少ない需要に対しては、福祉施策として考えていきます。	◎	施策の柱4-4-3 ・地域がワゴン車などで自主運行する取組を支援していきます。
22	川根町の黄色のバスはなぜナンバーが白色なのですか。	交通空白地での輸送として、道路運送法第79条の許可を得て、市が主体となった有償運送を行っていることから、白ナンバーで運行しています。バス事業者が主体となって運行している場合は、緑ナンバーとなります。	—	
23	個人所有の山林を「市」へ寄附しようとする場合、受け皿はあるののか。（固定資産税の負担が重いです）	市では、利用目的のない山林を所有することは、多くの管理費が必要となることから、寄附の受け入れは難しいと考えています。（行政財産として受ける場合）	×	

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
24	規制緩和により「貨客混載」サービスが過疎地で可能との中で、伊久身地区も同レベルであると考えられるが、同等の対応はできるのか。また、参入する事業者はあるのか、情報を求めます。	乗合事業者の営業範囲内であれば対象地区になると考えますが、参入が可能な事業者の情報は現在ありませんので、動向については今後も注視していきます。	—	
25	河原町、川越街道に観光客が多く来るような建物ができないものか。	川越遺跡整備事業として、歴史的景観や学術的な価値を踏まえた保存管理を進め、活用していきます。	◎	施策の柱5-1-1 ・大井川川越遺跡は、歴史的景観のほか学術的な価値を踏まえた保存管理を進めながら整備活用につなげていきます。
26	木都島田で栄えた歴史があり、木の文化の見直しはしないのか。	大井川とともに培われた川越文化や牧之原台地、木都島田とよばれる所以となった林業の発展など、かけがえのない歴史を次の世代へとつなげていきます。	◎	施策の柱5-1（基本的な施策の方向性） 江戸時代に大井川の川留めで花開いた川越文化、明治維新を経て牧之原台地に入植し、静岡茶の黎明期を支えた旧幕田たち、明治から昭和の時代にかけて経済発展を支え、木都島田と呼ばれる所以となった林業の発展、これらは大井川とともに培われ、市民一人ひとりの心の奥底にもつ、かけがえのない歴史と文化です。こうした特色ある歴史・文化を次の世代へとつなげていきます。
27	中山間地の地域づくりの課題の中で、生活基盤の再構築が求められていると思いますが、どの様に考えていますか。	中山間地の魅力を市内外へ広く発信するとともに、移住・定住を希望する人たちが増えるよう支援します。 また、移住定住促進や地域協力活動等に従事する「地域おこし協力隊」を3大都市圏などから積極的に受け入れていきます。	◎	施策の柱5-3-1 ・首都圏をはじめとする移住相談会や体験ツアーの開催により、当市の特徴であるほどよい田舎暮らしをPRします。 ・地域協力活動と移住・定住促進業務等に従事する「地域おこし協力隊」を、3大都市圏などから積極的に受け入れていきます。
28	伊太谷川改修事業の内容は、地すべり地区（上伊太）の早急な対応をするのでしょうか。	伊太谷川改修事業については、地すべり防止事業ではなく、二の沢吐口部分（斎場の道路との交差場所）の暗渠管の不良が起因となり、伊太谷川の護岸崩壊が発生しているため、条件護岸の範囲内である崩壊部分において、改修工事を実施するものです。	—	
29	市民会館跡地の具体的な再利用方法は、考えがあれば教えてください。	市民会館の跡地については、市役所本庁舎、プラザおおるり、郵便局南の職員駐車場、中央小公園の施設を含め今後整備の方向性を検討していきます。	◎	施策の柱7-4-2 ・老朽化が進む市役所本庁舎、解体した旧島田市民会館及び大規模改修等の検討時期を迎える市民総合施設プラザおおるりについて、庁舎機能の更新を前提に当市の中心地にふさわしい施設のあり方を一体的に検討します。
30	今日のタウンミーティングはほとんど男性で60歳以上。若い人の意見を聞いたほうがよいのでは。	今回のタウンミーティングのほか、中学生や高校生、また新成人など、アンケートによる意見聴取を実施しています。	—	
31	総合計画については、目標としていることがわかったが、今後、各地域を巻き込んで具体的な策をどうつくっていくかである。地域の人の意見をどう具体的に反映していくか十分な検討を願います。計画するのは楽。これからが大切です。	様々な取組を進める中で、重要な判断をしなければならない際は、確実に地域の方の意見を聞くこととしています。その姿勢は今後も変えることなく、地域の方の意見を最優先に取り入れていきます。	—	

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
32	今後、集中と選択が重要であると言いながら、総合計画の中にその集中と選択が盛り込まれていないような気がしました。	今回説明させていただいた各政策、事業については集中と選択をした結果をお示ししています。老朽化が進んだ各種ハード整備や、生活の充実を図るソフト事業など、やるべきことが多くあります。その中で、真に必要なものを選択、集中し、これから実施していきます。	—	
33	総合計画を進める中で、今後具体的なロードマップが必要になると思うが、その対応を今後お願いしたい。その中で、具体的な議論になるのではないかとと思う。	総合計画を進めるにあたり、政策や取組において成果指標となる「めざそう値」を設定し、毎年度その進捗管理をしていきます。	—	
34	「夢のような計画」と言っては申し訳ないが、これらが実行されていくことを期待します。そのためには、地区住民をおおいに巻き込む必要があり、このミーティングが持たれたと感じました。市の行政マンの情熱と努力、意欲を感じました。	計画を実現させていくためには、地域住民の御協力がなければ実施できませんので、よろしくお願いします。	—	
35	人口目標を2025年の時点で92,251人と設定しているが、見込みの数より1,600人多い程度なので、目標設定が低く感じる。	総合計画期間における人口目標については、2060年に8万人の人口目標に準じた数値となっております。2060年の目標については長期的な目標となり、総合計画期間の目標はその経過数値となることを御理解ください。	—	
36	計画の内容が抽象的で、骨子のみのため、もう少し具体的な表現（内容）でないと意見が出せません。	今回は時間の制約があり、骨子の説明に留まりました。具体的な内容については、12月以降パブリックコメントにて提示し、意見をいただきたいと考えていますので、その際に御覧ください。	—	
37	人口減少を止める内容が見えてこない。	今回説明させていただいた各政策分野における取組を実施することで、今後の目標人口の達成を目指すこととしています。	—	
38	市内各自治会が独自の居場所づくりをしていることを伺い、市政の構想に目覚めてきた感があります。	お年寄りを中心としたメンバーが、子どもたちのために駄菓子屋を開いた「なかみぞさんち」のように、地域で子育てし、子どもを見守りしていく取組事例があります。参考にして、お住まいの地域づくりに是非参画いただければと思います。	—	
39	島田市は浜岡原発から30km圏内にあり、島田市を含むU P Z地域や、静岡県にも働きかけ、子供や孫のためにも浜岡原発は再稼働しないよう、働きかけが必要だと思えます。	地震活動が活発な中、想定を越えた災害時に原子力発電所が安全を担保できるのか、さらに、使用済み核燃料の保管場所の確保ができていないなど課題が多いことから、再稼働を認められないことを表明しています。	—	
40	野外活動センターの利用については、まだ知らない人もいるので、整備をしながら進めてほしい。	野外活動センターの施設概要については、島田市ホームページ上にて紹介しています。今後、整備等実施した際には、島田市ホームページ上にアップしていくなど、周知を図りたいと考えます。	◎	施策の柱5-2-1 ・広報紙を旗艦メディアに、FM島田やソーシャルメディアの活用により、積極的に行政情報を発信していきます。
41	第2次島田市総合計画の中に北部4小学校（伊久美・神座・相賀・伊太）の統合問題がなかったことに安心しました。	教育環境適正化検討委員会の中で、今後の学校のあり方について、有識者や地域代表者等を交えて検討を進めています。学校の統廃合ありきではなく、地域の子どもにとって最善の教育環境はどうあるべきかを第一に議論を進めています。	◎	施策の柱2-2-3 ・「島田市教育環境適正化検討委員会」を開催し、適正な教育環境を実現するための具体的な方策を検討していきます。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
42	島田市野外活動センターについて ①建設後30年を経過しているので、長期的な保全計画について検討をお願いしたい。 ②野鳥の森と呼ばれている山に落石があり、本年度網を張る予算がついたとのことであるが、景観的にも問題がある ③駐車場が100台で少なく、3か所に分離しているので、大型が通れる連絡道路が必要 ④野鳥の森を削って駐車場にする等の案を検討して欲しい。 (避難所、自衛隊等の駐留地、観光バスが停められる場所がない)	市が保有する公共施設の整備につきましては、総合的かつ計画的に検討していきます。	◎	施策の柱7-4-1 ・公共施設を「財務」「品質」「供給」の視点から評価した上で、公共施設の整備や運営維持に関する用途別の方向性を「公共施設適正化推進プラン」として整理します。
43	1日も早く、若者の働く場所を増やして欲しい。	新東名島田金谷IC周辺地区内に工業用地を造成し、企業誘致を積極的に進めて雇用確保の一助としていきたいと考えています。	◎	施策の柱3-2-2 ・豊富な水資源や農林生産物等を活かし、6次産業など次世代の成長産業を見据えた企業誘致を進めます。 ・「内陸フロンティア推進区域」において、交通アクセスの優位性を活かした新たな工業用地と周辺基盤整備を進めます。
44	新東名島田金谷IC周辺整備について。一過性のお客さんの相手ではなく、リピーターが増える策のもと、10~20年先を見た計画をお願いします。まんさいかんに出荷している人間として、販売所が増えただけでは利点が一つもない。生産者に何を要求するか明確化し、地域・全国のお客さんが喜んでもらえるマーケットにしてもらいたい。	今回整備するこのマルシェの目的は、農業で稼ぐ拠点として農業所得を向上させることで、市内や大井川流域の優良農産物販売とともに、加工品等の商品開発を行い、ここにしかないものとして、賑わい交流拠点で製造・販売することです。これにより、知名度を高め地域の農業振興を図るとともに、観光交流人口の拡大による賑わうマーケットの創出につなげていきます。	◎	施策の柱3-4-3 ・市内の優良農産物を賑わい交流拠点で製造・加工販売し、知名度を高めていきます。 施策の柱6-3-4 ・地域の農産物を販売するマルシェやレストラン、大井川鉄道新駅と一体となった「新東名島田金谷インターチェンジ周辺賑わい交流拠点」を、関連する団体と連携して整備し、農業振興とともに観光交流人口の拡大による地域振興を図ります。
45	新東名島田金谷IC周辺地区の販売所の案について、出荷者が出資金を出さなければダメ。おんぶに抱っこでは失敗します。	このマルシェの目的は、農業者の農業所得を向上させることであるため、出資金の支出は別にしても出荷者がこの施設を使って稼ぐという意欲が必要と考えます。	—	
46	新東名島田金谷IC近くに大型の商業施設を計画されておりますが、この道周辺を通っていても交通量は少なく、とても採算が合うとは思えません。税金の無駄遣いになるのではないかと。	国道1号の4車線化、金谷御前崎連絡道路の整備、国道473号島田金谷ICから大代IC間の4車線化に加え、周辺の幹線道路整備や新東名通行車両を取り込むETC2.0の導入検討等により、この施設の利便性が高まり、基本計画では年間約140万人の来館者を見込んでいます。	◎	施策の柱6-2-1 ・新東名高速道路や国道473号などの広域幹線道路への連絡機能を強化する幹線道路を整備します。 施策の柱6-2-2 ・国・県と連携し、国道1号、国道473号など広域幹線道路の早期完成を目指します。
47	神座地区はみかんの産地で、なんとか神座みかんをブランド化できないかと考えております。地元、JA、市農林課等を含め研究的組織ができないかと思います。	新東名島田金谷IC周辺整備の中で、大井川流域の農産物を販売する賑わい交流拠点の整備が計画されています。現在、施設で販売する物産の研究・検討が行われていますので、その中で神座みかんのブランド化についても検討していきます。	◎	施策の柱3-4-3 ・市内の優良農産物を賑わい交流拠点で製造・加工販売し、知名度を高めていきます。
48	神座地区はみかんオーナー制度で10数軒が取り組んでいるため、市の観光パンフレットに、ぜひ神座みかんの産地について記載をお願いします。	例えば、旧島田市・旧金谷町との合併から10年経過した平成27年度に作成の島田市勢要覧の産業のページにおいて、神座みかんの紹介が掲載されています。	—	

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
49	高齢化社会の中、なんと言ってもまちへの交通が必要となる。現在のバス路線の維持と低料金化を進めて欲しい。	現状のバス路線については、最低限維持していきたいと考えています。また、料金については、受益者負担の観点から、今の料金を維持していきたいと考えています。今後は、タクシーの利用や自治会やNPOが主体となった運行システムの構築を中心に公共交通の整備を図っていきます。	◎	施策の柱4-4-3 ・地域住民の交通の利便を図るため、路線バス事業者に補助を行い、不採算バス路線を維持しつつ、利用状況等を勘案しながら、適宜必要な見直しを行います。 ・地域がワゴン車などで自主運行する取組を支援していきます。
50	山間部の道路について、今までは住民の数も多く、地元で維持管理が行われてきたのですが、住民の数も減り高齢化になった今、なかなか大変な作業であり、難しいこととなってきました。土木工事はもちろんですが、草刈り等においても、行政の力やボランティアの力が必要となってきていると思います。生活道であり、林道であっても、森林保全のために重要な道路でありますので、知恵をしばってほしいです。	多面的機能をもつ森林を保全するため、間伐事業や林道、施業道の整備、治山事業を進めています。島田市は山林面積が広いため、行政だけでは十分な管理ができません。高齢化等の状況は承知していますが、出来る範囲でかまいませんので地域の皆様のお力をお借りして協働で適正管理をしていきたいと考えています。	◎	施策の柱4-2-2 ・間伐と一緒に行う作業道整備による森林施業を支援するほか、林道整備や治山事業を進め、森林の多面的機能を確保します。
51	島田市として、国のモデルにもなるような自然エネルギーの推進を強く進めるべきだと思います。	島田市では、全国でも先進的な取組として、川根温泉のメタンガスを活用したコージェネレーションシステムにより、川根温泉ホテルに電気を、ふれあいの泉に熱を安定供給し、温室効果ガスの削減を図っています。 また、市内の豊富な自然資源を活用した再生可能エネルギーの導入に向けての調査研究を進めていきます。	◎	施策の柱4-1-1 ・川根温泉のメタンガスを活用したコージェネレーションシステムを通じて、川根温泉ホテルに電気を、ふれあいの泉に熱を安定供給し、温室効果ガスを削減する取組を全国へと発信します。 ・市内の事業者や市民とともに市内の豊富な資源を活用した再生可能エネルギーの導入に向けての調査研究を進めます。
52	農用地の利用増進の施策同様、森林の利用増進を図るべきであると思います。そのために、森林組合を活用したらどうでしょうか。	現在、森林組合は、国や県、市の助成を受け、間伐及び保育事業、山林の測量調査、各種講習会等を実施しており、適切な森林管理や林業振興に努めていただいています。	—	
53	課題解決の目標の具体的数値を地域住民で共有していきたいです。	各政策の柱や小柱に成果指標「めざそう値」を設定する予定であります。御確認をいただき、地区の方と共有いただけたら幸いです。	—	
54	当自治会でも意見アイデアを集約して形あるものになるよう進めていますので、ご助言、ご助力をお願いします。	自治会でまとめたアイデアなど、御提案・御要望としてお話しいただけたら幸いです。	—	
55	私の住む部落は約20年間で戸数が半減しました。地すべり地帯で若い人が住めなくなっており、20年後には消滅の可能性もあります。	引き続き、集落機能を維持するため、複数集落を一つのまとまりとして、集落を活性化する取組等を住民とともに検討していきます。	○	施策の柱6-3-5（追加） ・過疎地域等の集落における暮らしを持続可能なものとするため、より広い範囲で活性化を図る集落ネットワーク圏の形成を進めます。
56	村の人は町の人に比べて不便な思いをしている。税金を安くするなら我慢するか。	伊久身・大長地区については「水と緑の自然を守り、ふれあいと絆のある地区を目指して」をテーマに、豊かな地区資源や、地域間の絆を活かしたまちづくりを進めていきたいと考えます。	—	

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
57	お茶の振興を図る上で、島田市では緑茶化計画を進めています が、お茶の生産、販売、またお茶の文化や健康への効能など、総合プロジェクトをつくり、進めることが必要だと思います。一例として、お茶をPRする歌の募集なども良いと思います。	島田市緑茶化計画においては、多岐にわたりお茶の振興についての取組を実施している最中です。現在では、ロゴを活用する補助金やミュージックビデオの製作等PR活動に努めています。 今後は、シティプロモーションと市内産業が連携した取組を進めるほか、お茶の販売促進活動に力を入れ、国内外に展開していく予定です。	◎	施策の柱3-4-3 ・シティプロモーションや他産業と連携して、お茶の販売促進活動を国内外に展開していきます。 施策の柱5-2-2 ・アンテナショップや様々なイベント等を通じて、当市の一番の魅力ともいえるお茶のすばらしさ、そして「日本一のお茶のまち 島田」を、多くの人に伝える機会を創出します。
58	美しい景観を守っていきたいです。（コンビニ等反対！）	島田市の豊かな自然環境や価値ある歴史資産など、美しい景観を今を生きる私たちが責任を持って、後世に残していかなくてはなりません。 地域ごとの良好な景観の形成、保全を図るとともに、景観計画に基づき新たな重点地区を指定していきます。	◎	施策の柱6-3-2（冒頭部） 豊かな自然環境や価値のある歴史資産など、当市のもつ美しい景観を構成に残していく必要があります。地域ごとの良好な景観の形成・保全を図るとともに、景観計画に基づいた重点地区の指定を行っていきます。
59	市からの会合（防災など）の案内に、「駐車場がないため、乗り合わせで」と記載があるが、乗せて行って何かあった場合、誰が責任をとるのですか、もう少し考えてください。老人会の集まりでも足がない人もいるためご配慮をお願いします。	毎回、会合等のため、会場まで御足労いただきありがとうございます。 会場の駐車場に限りがある場合については、そのような御案内とさせていただきますので、御理解のほどお願いいたします。 限られた地区の会議等については、地区の施設を活用するよう努めていきます。	—	

※総合計画前期基本計画本文については、現在熟度を高める作業を行っているため、言い回しや表現方法など、変更される可能性があります。